

特別賞

都市計画道路 東の参拝道線(歴史的地区環境整備街路事業)

(表彰対象者：栃木県日光市都市計画課)

表彰の理由

自然石による階段、水路の設置など歴史と生活が調和したデザイン、施工に工夫が見られ、歴史的資源に配慮し魅力ある道路空間が創設された。

事業のあらまし

日光市は、男体山等の日光連山や中禅寺湖・華厳の滝に代表される「自然美」と、江戸初期の建築芸術の粋をつくりした東照宮や二荒山神社、輪王寺の二社一寺の「文化遺産」等の歴史的文化的な伝統あるまちとして発展してきた国際観光都市である。

「東の参拝道線」は、「歴史的地区環境整備街路事業」として二社一寺への参拝道を周辺の歴史的景観との調和に配慮し整備したものである。

- 延長：760m
- 幅員：3～13m
- 事業費：401百万円
- 事業実施期間：昭和63年～平成5年3月



片側にあつた用水の側溝を中央部に移し、うるおいと、やすらぎのある見て楽しいせせらぎを表現した。



本道路の起点で国道120号の「神橋」橋畔である。コンクリートむき出しの目地、帯状の縁石が目についた。

千二百年の歴史と文化が薫る日光



ミカゲ石張り舗装とし、苔むした石垣や歴史的景観に配慮した燈籠風の街路灯を配し参拝道の嚴肅さを表現。



ミカゲ石のピンコロ舗装とし、冬季の凍結によるスリップ防止も兼ねた。歩車道分離にミカゲ石柱と鉄鎖使用。



東照宮の千人武者行列の終点で「御旅所」の脇を本道路が通っている。古い石垣、木柵、街路灯の調和が好評。



アスファルト舗装で、電柱もあり景観上も良くない道路であった。



参拝道としては非常にさびしい限りの道路であった。この道を年間27万人もの観光客が東照宮等に参拝した。



水路の底を栗石の亀張りとし、日光の清流をイメージしたせせらぎとし、路面はミカゲ石張り舗装とした。

事業遂行上の工夫

起点から約70mの階段部は古い石垣との調和を図るために自然石の石段とし、片側にあつた側溝を中央部に移し地場産の石を使い日光の清流と小滝を表現した水路とした。歩車道部は御影石平板を用い擬宝珠のついた車両防護柵を、歩車道分離に御影石柱を置き街路灯は燈籠風とした。地区内の主要道路の電線類は地中化した。